

宮城県における 新規就農について

2023年10月28日

宮城県農業経営・就農支援センター

目次

- 1.宮城県の農業概要
- 2.宮城県の新規就農者の動向
- 3.新規就農までの流れ
- 4.就農に向けた支援内容
 - (1) 就農相談活動
 - (2) 農業体験等
 - (3) 就農準備資金
- 5.その他

1.宮城県の農業概要

～気候風土に合わせた農産物の生産～

3



1 宮城県の農業概要

▶ 宮城県とは

- ・東京から約300km北東、東北地方の南部に位置している。
- ・沿岸部は夏は涼しく、冬は暖かい気候、平野部は肥沃な大地により、多彩で豊富な農産物が生産されている。

▶ 主な農産物（特産物等）

- ・土地利用型作物（米や大豆、麦）
 - … 「ひとめぼれ」・「ササニシキ」・「だて正夢」 等
- ・畜産
 - … 「仙台牛」・「しもふりレッド」 等
- ・園芸作物
 - … 「パプリカ」・「せり」・「トマト」・「きゅうり」・「いちご」 等

4

2.宮城県の新規就農者の動向

～新規就農者の推移、就農形態別の比率～

5

2 宮城県の新規就農者の動向

▶ 新規就農者の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
自営就農	35	40	33	50	50	60	47	64
雇用就農	115	114	98	84	93	96	42	93
新規参入	23	29	40	24	15	18	20	33
合計	173	183	171	158	158	174	109	190

▶ みやぎ食と農の県民条例基本計画

Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による
戦略的な農業の展開（儲ける農業）

推進指標 **新規就農者数（年間160人）**

▶ 就農年代・品目別（令和4年度）

- ・年代別：20代(35%)，30代（30%）
- ・品目別：野菜（新規参入，自営就農）、水稻（雇用就農）



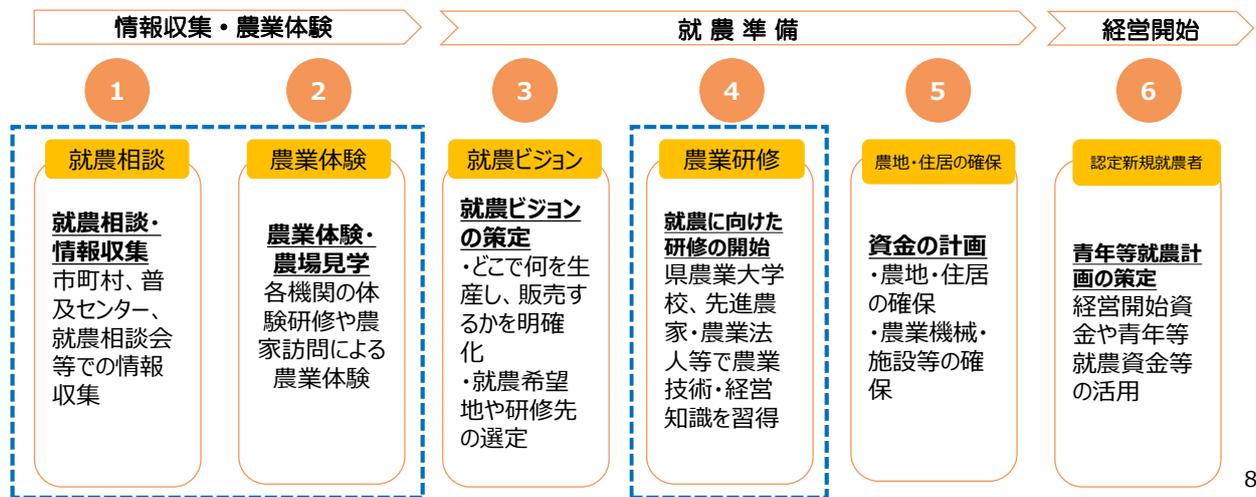
6

3.新規就農までの流れ

～就農準備から農業経営開始までのフロー～

3 新規就農までの流れ

▶ 就農準備から農業経営開始までのフロー（一般例）



4.就農に向けた支援内容

～就農相談・農業体験・研修～

9

(1) 就農相談活動

▶ 定例就農相談会

毎月2回（第2水曜日・第4水曜日）、宮城県仙台合同庁舎にて、[宮城県・宮城県農業会議](#)
[みやぎ農業振興公社](#) の3者で開催 ※zoomを活用したオンラインによる相談対応も併用

▶ 就農相談フェア（株）マイナビ主催

マイナビ農林水産FESTへの参画（年に数回程）



▶ みやぎ移住・交流フェア（宮城県主催）

新規就農相談ブース

※R5年度・・・11月28日 東京交通会館

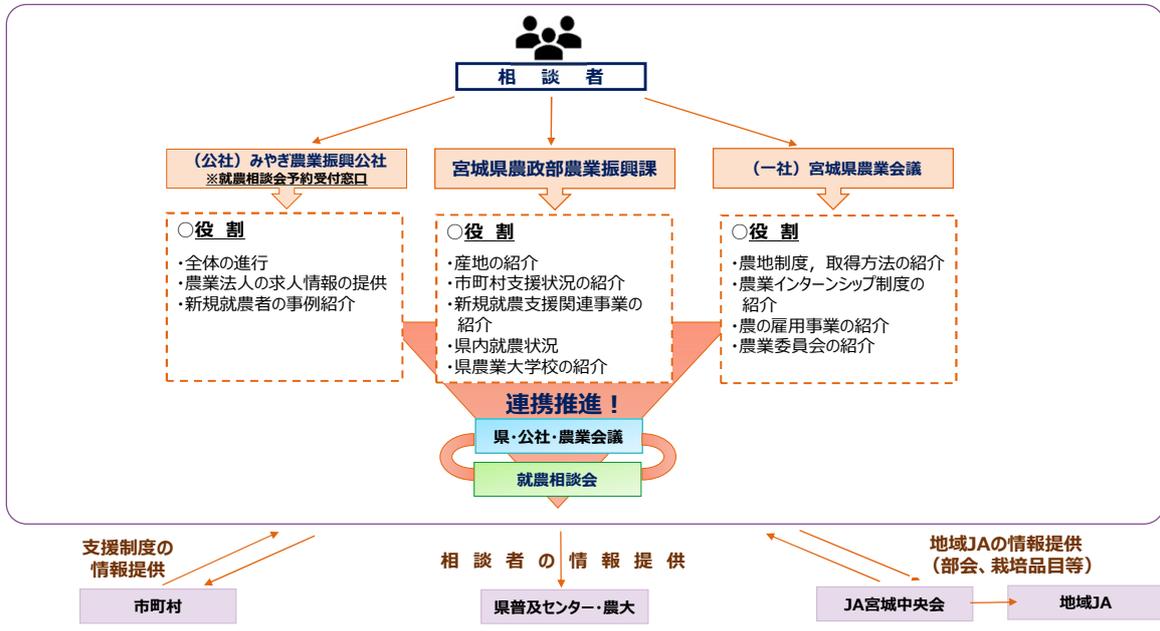
▶ 宮城県新・農業者ネットワーク交流会（新農業者NW主催）

新農業者と新規就農希望者との交流・情報交換会（年に数回程）



10

就農相談会連携イメージ



11

(2) 農業体験等

農業を見て、聞いて、感じる 見学、短期体験研修

農業に興味がある

- ・のどかなイメージ
- ・土とふれあいたい
- ・おいしい農産物に興味がある
- ・子供を育てるには良い環境



農業を仕事にできる?

- ・農業で収入が得られるの?
- ・どういう働き方があるの? (独立自営タイプ, 雇用就農タイプ)
- ・どういう品目があるの?



見学

どんな仕事をするの?

- ・農業現場を見てみたい
- ・実際に働いている人と話したい
- ・どんな仕事をしているのか?
- ・お金にはなるのか?



就農相談会に参加した希望者に対し、
・見学先(1日)
・短期体験研修先
を紹介します

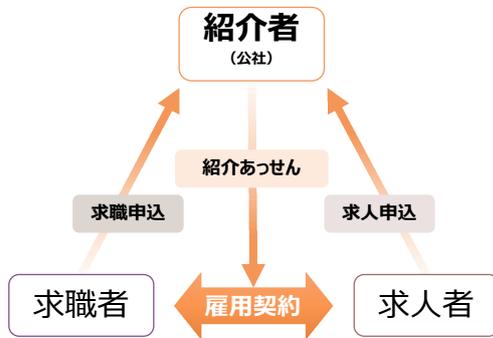
短期体験研修 体験してみよう!

- ・興味を持った品目を栽培する農業者のもとで短期(3日以上)研修
- ・ポイント
①自分に合う品目か?
②仕事として取り組めるか?

12

▶ 無料職業紹介事業

求人者（農業法人等）を希望する事業所と求職者（就農希望者、相談者）とのマッチングを推進



※みやぎ農業振興公社では、厚生労働大臣の許可を受け
平成24年7月1日より無料職業紹介事業を実施。

※求人情報に関する内容は、上記公社HPより閲覧可能。
【参考URL】
<http://www.miyagi-agri.com/news20230106/>

13

(3) 就農準備資金

▶ 就農準備資金とは（国庫事業）

都道府県が認める研修機関等（県農業大学校等）で研修を受ける就農希望者に、最長2年間、年間最大150万円を交付する研修制度。

▶ 交付対象者の主な要件（全ての要件を満たす）

- ・ 次世代を担う農業者となる強い意欲がある方
- ・ 原則、研修後の就農開始時点で49歳以下の方
- ・ 交付対象者は、独立・自営就農又は雇用就農を目指すこと
親元就農を目指す者は、就農後5年以内に経営継承、農業法人の共同経営者又は独立・自営就農すること
- ・ 県認定の研修機関等で概ね1年以上（概ね1、200h/年）研修すること
- ・ 常勤の雇用締結をしていないこと
- ・ 生活保護、求職者支援制度等、生活費を支給する国の他の事業と重複受給でないこと
- ・ 原則、前年度世帯所得（親子及び配偶者の範囲）600万円以下
- ・ 研修中の怪我等に備えて障害保険に加入すること

14

(3) 就農準備資金

▶ 交付実績

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
件数	12	10	21	23	20	25	20	10	17	13	19	190

▶ 返還の責務

以下のいずれかに該当する場合、資金の一部又は全部を一括返還

▶ 研 修 中

- ・ **交付対象者の要件**を満たさなくなった
- ・ 研修を**途中で中止**したあるいは**休止**した
- ・ **適切な研修**を行っていない
- ・ **研修状況報告**を定められた期間内に行わなかった

▶ 研修終了後

- ・ **1年以内**に原則**49歳以下**で**独立・自営就農**又は**雇用就農**しなかった場合
- ・ **交付期間の1.5倍（最低2年間）**の期間、独立・自営就農又は雇用就農を継続しなかった
- ・ 親元就農者について、**就農後5年以内**に**経営継承**しなかった、農業法人の**共同経営者**にならなかった又は**独立・自営就農**しなかった
- ・ 独立・自営就農者について、**就農後5年以内**に**認定農業者**又は**認定新規就農者**にならなかった
- ・ **就農状況報告**を定めた期間内に行わなかった

15

5.その他

～新規就農関連情報～

16

▶ **新規就農PR動画 ～みやぎで農業！～**

宮城県内で新規就農を果たした先輩就農者の声をYouTube動画にて掲載。

宮城県の農業、新規就農希望する方のサポート組織、就農に関する相談窓口等、ステップ毎に紹介。



▶ 参考QRコード



▶ **マイナビ農業 ～食材王国みやぎ～**

宮城県で農業を始める方向けの情報をまとめたサイト



▶ 参考QRコード



みやぎで農業 始めませんか？

～あなたの就農をサポートします！～



令和5年10月28日(土)

みやぎオンライン就農セミナー

丸森町の農業及び支援体制の概要

丸森町農林課農政班 主事 高橋 瑞暉

0 目次

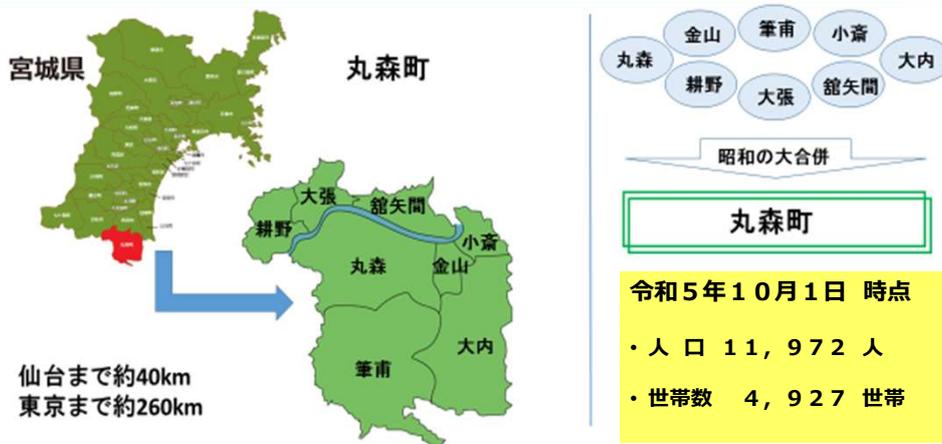
- 1 丸森町の農業概要
- 2 新規就農支援体制について
- 3 支援制度・内容について
- 4 先輩就農者の事例
- 5 おわりに

1 丸森町の農業概要

2

1 丸森町の農業概要

丸森町は宮城県の南端に位置し、南西は福島県と隣接しています。町の北部を東北第二の大河である阿武隈川が貫流し、その流域と支流河川の流域一帯が平坦地を形成していますが、南東部は500m内外、北西部は300m前後の阿武隈山地の支脈で囲まれた盆地状の町です。
町の総面積は273.30平方kmで、仙南広域圏の約17.7%、宮城県の約3.8%を占め、町域の約70%を山林が占める中山間地域です。



3

1 丸森町の農業概要

◆ 農業の特徴

かつては水稲と養蚕などとの複合経営が中心でしたが、近年は阿武隈川とその支流地域の平坦部を中心に水稲や酪農の大規模化が進み、生産額の大半を占めています。一方山間部では高齢化による後継者不足が深刻で、廃業する農家が増えています。

◆ 主な農産物

米（コシヒカリ・ひとめぼれなど）
生乳、豚肉、たけのこ、自然薯、
ブロッコリー・小菊・柿・イチゴなど

◆ 農業産出額（R3）

48.6億円（県内11位）

（単位：億円）

年	畜産	水稲	園芸特産	合計
H30	28.9	10.1	7.6	46.6
R 1	34.3	8.8	6.6	49.7
R 2	35.8	8.1	7.1	51.0
R 3	34.3	7.0	7.3	48.6

市町村別農業産出額（推計）より



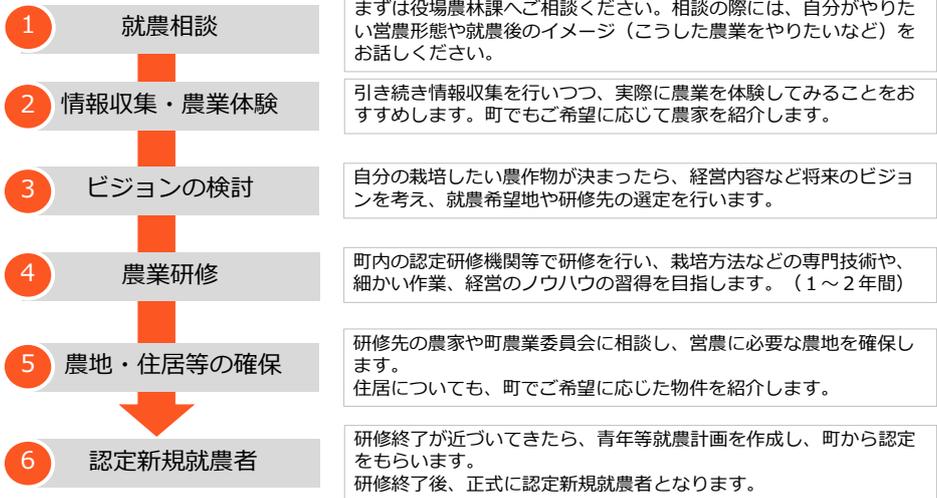
4

2 新規就農支援体制について

5

2 新規就農支援体制について

◆丸森町で就農するまでの流れ（主に研修制度を利用する場合）



認定新規就農者になった後も、町やJAなどの関係機関で構成した「丸森町新規就農者サポートチーム」が経営安定や栽培技術向上をサポートします！

6

3 新規就農支援制度・内容について

7

3 新規就農支援制度・内容について

◆丸森町で紹介可能な支援制度（※準備資金は省略）

①経営開始資金

認定新規就農者に対して、就農直後の経営確立をサポートするため、月12.5万円（年間最大150万円）の資金を交付します。
町では「丸森町新規就農者サポートチーム」が年2回の経営状況確認・圃場視察などでサポートします。

②経営発展支援事業

認定新規就農者に対して、営農に必要な機械・施設等の導入費を支援します。
導入費は融資を受けることが前提で、事業費最大1,000万円（①活用の方は500万円）のうち国が1/2、県が1/4、自己負担が1/4となります。

③丸森町担い手確保支援事業（町独自事業）

青年等就農資金を借り入れた認定新規就農者に対して、償還額（運転資金以外）の1/2を補助します。

8

3 新規就農支援制度・内容について

④丸森町新規就農者定住推進事業（町独自事業）

町内の賃貸住宅に居住する認定新規就農者に対して、年間48万円を上限に家賃の1/2を補助します。（最大3年間）

⑤地域おこし協力隊制度

農業法人等に協力隊として着任し、3年間月24万円の地域協力活動に対する報償を受け取りながら、就農に向けた準備をする事が出来ます。
丸森町では、これまで東北でトップクラスの数の隊員が着任しており、行政のサポート体制が充実しています。

⑥しあわせ丸森暮らし応援事業（町独自事業）

新たに町に移住する45歳未満の世帯に対して、住宅や空き家の取得費、リフォーム費、家賃（④との併用は不可）などの費用を補助します。

※詳細な補助メニューは町HPをご覧ください。

<https://www.town.marumori.miyagi.jp/life/detail.php?content=784>

その他、就農後も営農形態に応じて様々な支援制度を用意しています！

9

4 先輩就農者の事例

10

4 先輩就農者の事例

丸森町地域おこし協力隊

おいかわ けんぞう
及川 健造 さん（派遣先：農事組合法人羽山の里佐野）

丸森町に来たきっかけ

もともと登米市の実家がキュウリ農家を営んでおり、自身も手伝っていましたが、結婚を機に独立を目指し就農場所を探す中で、丸森で良い空き家が見つかったこと、興味があったイチゴの栽培が出来る環境があったことで、丸森町での就農となりました。

現在の就農状況

協力隊として着任後、未経験だったイチゴの栽培技術を一から学び、法人のイチゴ部門を任されています。その他、つるむらさきやブロッコリーの栽培にも携わり、高齢者が多い法人の貴重な担い手となっています。協力隊としては11月末に卒業予定ですが、その後は法人に就職し、引き続きイチゴ栽培に取り組んでいく予定です。

活用した支援制度

- ・地域おこし協力隊制度（月24万円の報償+活動費）
- ・しあわせ丸森暮らし応援事業（家賃助成）



11

5 おわりに

丸森町は、皆さんを受け入れる
「サポート体制」が整っています。
皆さんの「想い」を実現させ、
この丸森町で幸せに暮らしていけるよう
地域や関係機関と連携しながら
皆さんの就農を精一杯お手伝いします。

◆お問い合わせ先

丸森町農林課農政班 TEL : 0224-72-2113

Mail : nosei@town.marumori.miyagi.jp

12

ご清聴ありがとうございました！





定例就農相談会 ～新規就農までの流れ

(公社) みやぎ農業振興公社
令和5年10月28日

定例就農相談会 (事前予約制)

●対象者

宮城県内で新規就農希望している方

●毎月2回開催

第2・第4水曜日
午後1時15分～午後5時15分

●開催場所

宮城県仙台合同庁舎 会議室

●開催方法

個別による相談対応 (対面またはzoomによるオンライン対応)

相談会予約希望の方は
就農相談会チラシ
をご覧ください



【2023年度 就農相談会チラシ】
(PDF)



宮城県・県農業会議・
みやぎ農業振興公社の
相談員が対応



▶ 相談対応の流れ

1. 新規就農相談カードの内容確認

相談者の状況、希望等について聞き取りする

⇒「就農の動機」、「将来ビジョン」、「希望する品目・就農希望地」等



【就農相談会ページ
(公社HP)】

2. 相談対応（提案・助言等）※一例

・非農家出身、農業未経験者の方（就農形態等は未定）

⇒ 農業体験や見学を案内

・現在会社員または求職中で、就職先として農業を検討している

⇒ 公社取扱の求人情報を提供

・県内で独立就農希望、品目や地域は未定

⇒ 研修機関、研修制度の紹介

品目や地域の選定については、現地の見学・体験を案内



3. 関係機関へ情報共有

相談内容に応じて、市町村・県農業改良普及センター担当課へ情報共有し、継続した支援を実施

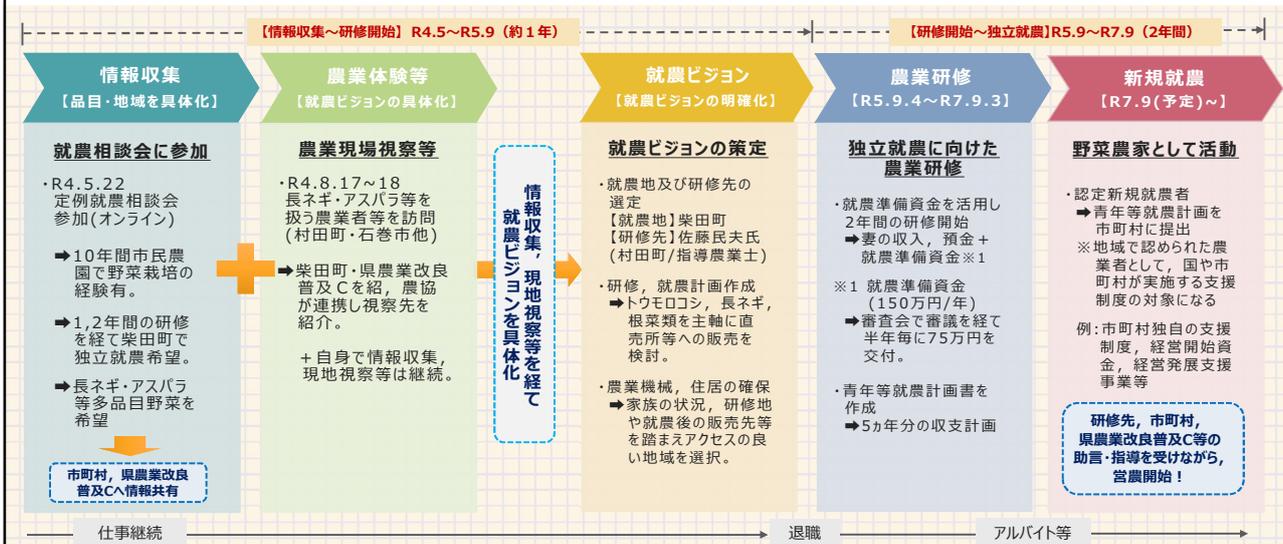
連携 推進

定例就農相談会

市町村・県普及C等

▶ 就農相談会～就農までのスキーム（一例）

●北海道からのUターン 野菜農家をを目指すSさん（33歳／男性）



▶ 視察研修の様子



【アスパラ視察】
村田町 佐藤民夫氏



【長ネギ視察】
角田市 館島田生産組合



【アスパラ視察】
東松島市 バスカファーム立沼



新規就農に向けて必要なこと

やる気・体力・根気

農業はとにかく体力勝負。
急がず時間をかけて、
農業体験や見学を通し、
農業の適性を見極めましょう。

まずは相談

就農活動をどう進めたら良いか
分からない場合等は、
就農相談会に参加しましょう。

時間をかけて検討

**就農はすぐにはできないもの
ではありません。**
情報収集や現地視察等を
重ね、新規就農に向けて
研修・就農計画を立てましょう。



蔵王町農業委員会・蔵王町

～蔵王町で農業をしてみませんか？農業と観光の町です～

(1) 蔵王町の農業の特徴

蔵王町は秀峰「蔵王連峰」の東麓に位置し、仙台市の市街地から約40km圏です。

標高差の大きい土地を活かし、水稻、果樹（なし、うめ、りんご等）、野菜（夏秋きゅうり、里いも、大根等）、畜産（乳用牛、肉用牛、採卵鶏等）と多彩な営農がなされています。



(蔵王町の農業風景、収穫作業)

(2) 就農支援体制・市町村独自の就農支援

新規就農を含む農業経営の相談業務に対応するために指導員を配置しており、農業者育成や営農指導も行っております。また、農業の担い手として新たに就農した方への農業経営の継承及び就農意欲の向上と育成を図る目的で補助金を交付しています。他にも有害鳥獣対策として設置する電気柵等の費用、農業者の経営安定等に資する農業経営収入保険に対する掛け金、施設園芸用ハウスの資材購入及び補修に係る経費の一部を補助しています。

(3) 求める人材

蔵王町に移住できる方で、健康で意欲のある方。

(4) 先輩就農者の例

離農した実家の農地を有効活用するため、異業種からUターンで就農された方、子の独立に伴い、異業種からIターンで就農し、高原野菜を中心とした付加価値の高い品目の栽培に取り組む方等、就農のきっかけは様々ですが、新規作目の導入や経営の多角化等による経営発展に向けた取組みを各自行いながら営農されております。

(5) 紹介可能な農地情報（※最終的には地権者の方の意向によります）

農業委員会と農林観光課が連携して相談に応じます。借りる、買う、面積規模、気候や立地、営農種別などによっても適地が違うこともあり、個別に応じます。

お問合せ先：蔵王町農業委員会／蔵王町農林観光課 ※上記の内容は令和4年度のものです。

農業委員会 電話：0224-33-3003 メール：noui@town.zao.miyagi.jp

農林観光課 電話：0224-33-3004 メール：no-shin@town.zao.miyagi.jp

柴田町

柴田町で花農家になりませんか？

柴田町は、「花のまち柴田」いうキャッチコピーがあるように、桜まつりや大菊花展など、1年を通して花を楽しむことができる町です。また、柴田町には6つの直売所がありとれたての野菜や加工品だけでなく、花農家が丹精込めて育てた花も並び、地域の方から高い評価を受けています。

花のまち柴田で、人々の生活に色を添える花を育ててみませんか。



就農支援体制

柴田町・柴田町農業委員会・大河原農業改良普及センター・JAみやぎ仙南等が一体となって就農を支援します。

就農に対する相談は、随時行っておりますので、まずは柴田町農政課まで気軽にご相談ください。

先輩就農者の声

柴田町では、鉢花・切り花ともに栽培が盛んに行われています。

新規就農するにあたって、一番不安な部分が販売力だと思いますが、柴田町には花卉生産組合と、柴田鉢花研究会の2つの組合があり組合に所属することで、先輩農家からの技術指導や販路確保につなげることができます。

求める人材

- ・農業に興味のある方。
- ・地域との交流ができる方。
- ・健康で意欲のある方。
- ・柴田町に移住できる方。
- ・柴田町を元気にしてくれる方。



花農家の作業体系

※作業については、主な作業のみをピックアップしております。

品目：▲カーネーション (ハウス)
収量：5,000鉢/10a

品目：▲ポットマム (ハウス)
収量：5,000鉢/10a

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
カーネーション	鉢上				出荷					仮植		
ポットマム			挿し木		鉢上			出荷				

まずはご相談ください！

お問合せ先：柴田町農政課
 電話番号：0224-55-2122
 E-mail：agradm@town.shibata.miyagi.jp
 住所：宮城県柴田郡柴田町船岡中央2-3-45

川崎町・町農業委員会

～川崎町で農業をしてみませんか？自然豊かな所です～

(1) 農業の特徴

川崎町は、高温寒冷の気候で、水稻中心の町ですが、園芸野菜にも適した土地です。当町では、新規で就農される方が多く、自立して農業経営を行っている方も多く従事しています。健康で意欲のある方、お待ちしております。



川崎町観光 PR キャラクター「チョコえもん」

(2) 就農支援体制・市町村独自の就農支援

【支援体制】川崎町、町農業委員会、県農業改良普及センター、農協等が連携して総合的に支援します!!

【補助金等】農業用機械導入に 補助率 1 / 2 (上限 100 万円)
農業用ハウス設置に補助率 1 / 2 (上限 30 万円)

(3) 求める人材

①川崎町に移住できる方、②50歳以下の方、③健康で意欲のある方、④地域との交流ができる方、⑤新規参入の場合は、準備金150万円以上を用意できる方

(4) 先輩就農者の例

これまで（平成 24 年度以降）15 名の新規就農者が川崎町で営農いただいております、主に露地野菜に取り組んでいる方が多い状況です。皆さん農業所得向上に頑張っています。

(5) 紹介可能な農地情報（※最終的には地権者の方の意向によります）

川崎町川内地区の田、畑 2 ha（現況：遊休）、立野地区の田、畑 2 ha（現状：遊休）。いずれも町中心部から車で 10 分程度。移住可能な古民家は「空き家バンク」をご覧ください。一般的に川崎町の賃借料は年間で 10a あたり田：4,000 円、畑：2,800 円です。

■上記の内容は令和 4 年度のものであります。

お問い合わせ先：川崎町農林課農業係

電話番号：0224 - 84 - 2304

メールアドレス：nourin@town.kawasaki.miyagi.jp

住所：宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁 175 番地 1

川崎町農業委員会

0224-84-2305

nogyoinkai@town.kawasaki.miyagi.jp

色麻町農業委員会

～色麻町で農業をしてみませんか？あたりまえの風景が宝な町です～

(1) 色麻町の農業の特徴

みちのくの清冽な山河に抱かれた色麻町は、宮城県のほぼ中央北西部に位置し、美しい自然に恵まれた風光明媚な田園のまちです。

また、世界農業遺産に認定された大崎耕土の一角をなしています。

米を基幹として、大豆・畜産・野菜を組み合わせた複合経営を推進しています。



水田の中に森のように浮かぶ屋敷林『居久根』
(世界農業遺産に認定されたランドスケープ)

(2) 就農支援体制・市町村独自の就農支援

農地については、農業委員会が農家相談日（毎月10日）に情報提供を行っています。また、技術及び経営面については、大崎農業改良普及センターや加美よつば農業協同組合等が就農相談から就農、経営定着の段階まできめ細かに支援します。

(3) 求める人材

自然が豊かで、食べ物が美味しい田舎はたくさんありますが、それに加えて地域コミュニティが温かい色麻町で農業を始めませんか。町の知名度が低いのか、どこの田舎と思われがちですが、仙台圏までは車で約40分です。色麻町を好きになってくれる方なら大歓迎です。

(4) 先輩就農者の例

近年は年に1～2名の新規就農者がいますが、ほとんどの方が親元就農です。30から40代の方が多いですが、20代で頑張っている方もいます。

(5) 紹介可能な農地情報（※最終的には地権者の方の意向によります）

希望される農業形態により条件等もあると思いますので直接ご相談ください。町の空き家バンクに登録している移住可能な古民家等もあります。

一般的に色麻町の賃借料は年間で田10aあたり11,000円、畑10aあたり3,000円です。

※上記の内容は令和5年度のものであります。

お問合せ先：色麻町農業委員会：☎0229-65-2223 ✉nogyoii@town.shikama.miyagi.jp

色麻町産業振興課：☎0229-65-2154 ✉nousin@town.shikama.miyagi.jp

加美町農業委員会・加美町

～加美町で農業をしてみませんか？～

(1) 加美町の農業の特徴

加美町は、宮城県の北西部に位置し、西は山形県尾花沢市及び最上町、北から東は大崎市、南は加美郡色麻町に接しています。

水稲を基幹作物とし、世界農業遺産「大崎耕土」の一角として宮城の美味良質米づくりに取り組んでいます。

水稲以外では、大豆と飼料用米等のブロックローテーションの取組や、ねぎ、加工業務用野菜等の園芸作物



(2) 就農支援体制・市町村独自の就農支援

加美町農業委員会では、毎月「農家相談日」を設け、新規就農や営農に関する相談に対応しています。また、町産業振興課、県農業改良普及センターと連携し、円滑な就農計画の策定や各種研修などの支援制度が活用できるようサポートします。

(3) 求める人材

農業が生業であることを理解し、根気強く続ける意欲のある健康な方

(4) 先輩就農者の例

近年は町おこし協力隊出身の新規就農者がいて、有機農業に取り組んでいる方もいます。20歳から40歳頃の方が多く、卒業後にも情報交換を行い地域に溶け込みながら農繁期の異なる方々で農作業の助け合いなどを行い工夫しながら営農しています。

(5) 紹介可能な農地情報(※最終的には地権者の方の意向によります)

作物の種類によっても異なりますので、お問い合わせ先にご相談ください。

お問合せ先：加美町農業委員会／電話：0229-67-5411 メール：nougyouinkai@town.kami.miyagi.jp

加美町産業振興課／電話：0229-63-3408 メール：sangyou-shinkou@town.kami.miyagi.jp

※上記の内容は令和4年度のものです。

美里町農業委員会

～自然豊かな「美しい里」で農業を始めてみませんか～

(1) 美里町の農業の特徴

世界農業遺産に認定された大崎耕土に位置する美里町は、町の面積の約70%を豊かな水田や畑が占めています。整備の進んだほ場をいかし、稲作を中心として麦、大豆、じゃがいもなどの作物のほか、「北浦梨」をはじめとした果樹や施設野菜など、様々な作物が生産されています。



(2) 就農支援体制・市町村独自の就農支援

美里町農業委員会では、毎月「農家相談日」を設け、新規就農や営農に関する相談に対応しています。また、町産業振興課、県農業改良普及センターと連携し、円滑な就農計画の策定や各種研修などの支援制度が活用できるようサポートします。

(3) 求める人材

- ・農業に熱意をもって取り組める方
- ・美里町に定住する方

(4) 先輩就農者の例

家族の経営を継いだ若手の就農者が多く、稲作や花き、果樹、畜産などに取り組んでいます。また、町内の農業法人に雇用という形で就農している方もいます。

(5) 紹介可能な農地情報（※最終的には地権者の方の意向によります）

町内の一般的な賃借料は、年間で田9,500円～14,000円/10a、畑5,000円/10aです。

希望する作物や面積に応じて、農業委員会が農地のあっせんを行います。

また、空き家バンクにおいて農地付きの空き家なども随時掲載しています。

お問合せ先：美里町農業委員会／電話：0229-58-1214 メール：nougyo@town.misato.miyagi.jp

気仙沼市農業委員会・気仙沼市

～気仙沼市で農業をしてみませんか？～

(1) 気仙沼市の農業の特徴

気仙沼市は、宮城県の北東端に位置し、東は太平洋、南は本吉郡南三陸町、北は岩手県陸前高田市、西は岩手県一関市に接する地域で、水稻を主体とした野菜、施設園芸、畜産等の複合経営で農業生産を展開してきました。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の津波により、沿岸部の農地 648ha が被災しましたが、生産基盤、生産関連施設の復旧に取り組むとともに、県営土地改良事業による再整備を実施することにより、営農環境の整備と農地の集団化をすすめ、担い手への利用集積を行っています。



(気仙沼市の農村風景)

(2) 就農支援体制・市独自の就農支援

気仙沼市農業委員会、気仙沼市産業部農林課、宮城県気仙沼農業改良普及センター、新みやぎ農業協同組合と連携し、新規就農者への技術・事務的支援を行っています。

また、気仙沼市では独自支援（農林業維持振興事業補助金）として機械・施設の導入費用の 1/3 を予算の範囲内で共同利用する団体等に補助し、個人単独ではなく地域ぐるみで支え合う農業の支援を推進しています。

(3) 求める人材

気仙沼市に移住できる方、健康で意欲ある方、根気強く続けることができる方、経営力と判断力のある方

(4) 先輩就農者の例

階上地区においては、東日本大震災後に震災前から取り組んでいた「階上いちご」を復興させるべく、イチゴ栽培施設を導入した 30 代の若いイチゴ農家が精力的にイチゴ栽培に取り組んでいるとともに、本吉町津谷地区では 40 代の女性農業者が施設園芸（トマト）農家として活躍しています。

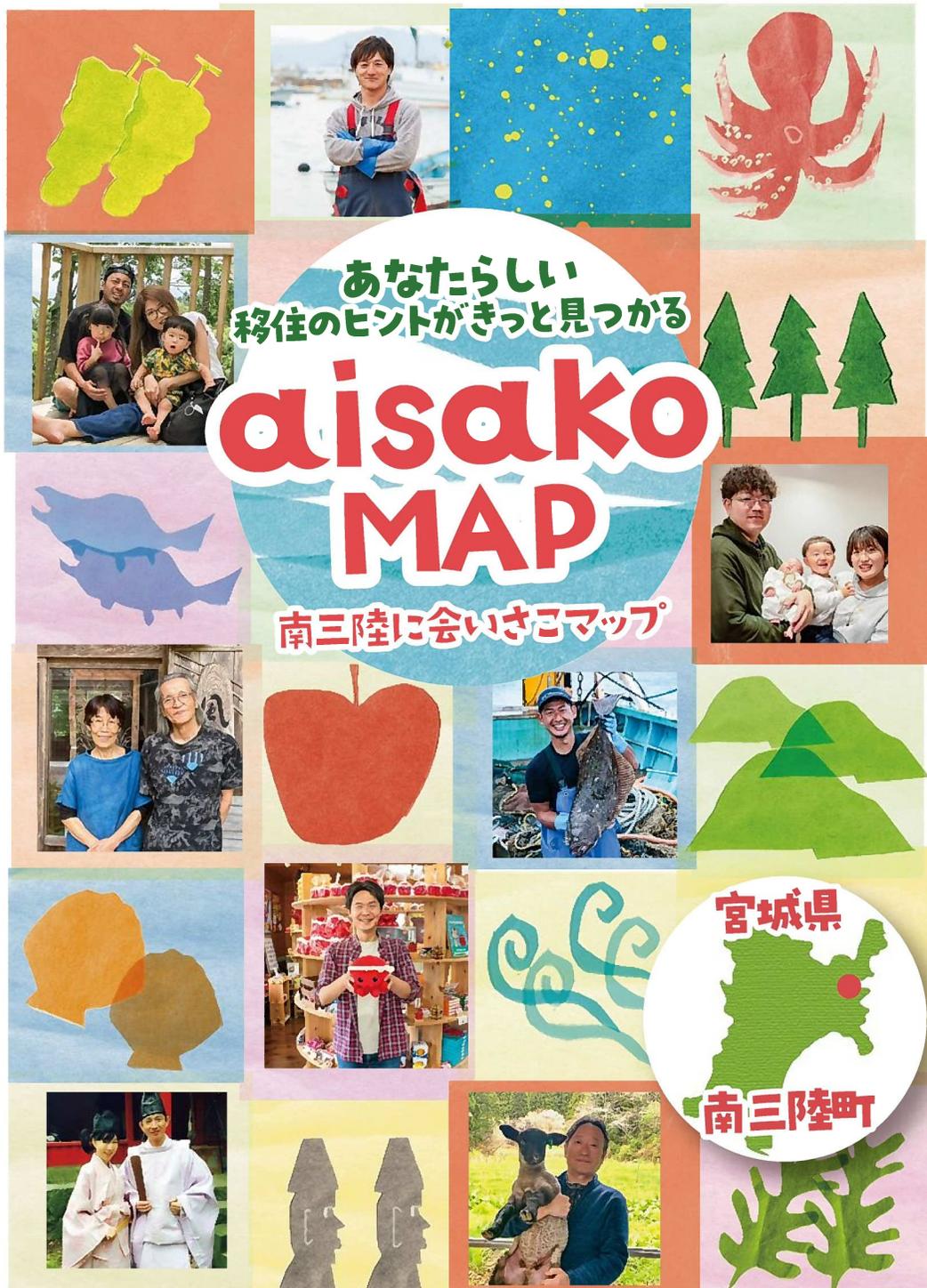
(5) 紹介可能な農地情報（※最終的には地権者の方の意向によります）

一般的に気仙沼市の平均の賃借料は、年間で田 10 a あたり 6,104 円、畑 10 a あたり 2,979 円となっています。

※上記の内容は令和 5 年度のものであります。

お問合せ先：気仙沼市農業委員会 電話：0226-22-6600（内線 381）メール：nogyoi@kesenuma.miyagi.jp

気仙沼市産業部農林課 電話：0226-22-6600（内線 541）メール：norin@kesenuma.miyagi.jp



宮城県南三陸町移住促進パンフレット

南三陸町へ移り住むまでの STEP!

- 1 気持ちと環境の準備**
 - 移住する理由や移住条件を整理
 - 家族と相談。移住後の暮らしをイメージ
- 2 情報を集める**
 - インターネットでの情報収集はもちろん、都市部で開催される移住イベントに参加
 - 南三陸町移住・定住支援センターに連絡
- 3 現地へ足を運ぶ**
 - 住まいや産業/仕事/暑さや寒さなどを現地でも体感する
 - 南三陸町移住・定住支援センターを利用して、地域の雰囲気や生活環境などを確認する
- 4 仕事と住まいを決める**
 - 最新の住まい/仕事に関する情報は南三陸町移住・定住支援センターまで
 - 南三陸町無料職業紹介所のサイトから仕事情報を知る

移住決定!!

オーダーメイド視察プラン

一人ひとりに合わせたプログラムで町内をご案内いたします。お申込み時に移住の目的・興味関心のある項目を教えてください。あなたに合わせたプログラムをご用意させていただきます。



INFORMATION COUNTER

南三陸町への移住・定住の受付やお問い合わせはセンターまで

南三陸町移住・定住支援センター

 **0226 - 25 - 9552**



詳しくはWebサイトをご覧ください



<https://www.minamisanriku-iju.jp/>

移住・定住の相談窓口

開設曜日 火～土
 受付時間 9時～17時
 場所 南三陸町役場 本庁舎1階
 〒986-0725
 南三陸町志津川
 字沼田101番地

定休日

日・月・祝日・年末年始



Facebookページ
@minamisanrikuIJU



YouTube



Instagram
@minamisanriku.iju_baton

移住を考える時に、実際に現地を訪れてみることは、欠かせないステップの一つです。南三陸町移住・定住支援センターでは、移住を検討している方のニーズに合わせて町内を案内したり、地元住民を紹介したりする「オーダーメイド視察プラン」を実施しています。今回は、実際に南三陸に移住して農業を始めた太田和慶さんと、太田さんが初めて南三陸を訪れた時に案内した、地元農家の阿部博之さんに、初回訪問時の印象や、移住者を迎え入れる地元住民の思いを聞きました。

「移住前に南三陸を訪れたときのことを教えてください。」

太田：妻が宮城県海側でカフェを開きたいという夢を持っていました。それなら私は農業で生計を立てていこうと、宮城の沿岸部の市町村がやってくる移住の窓口には、片っ端からメールでこんな農業がやりたいんですという計画書を送ったんです。その中で一番レスポンスが早かったのが、南三陸の移住・定住支援センターでした。それも、担当者の方の熱意が伝わるような文章で、農業委員会の方をご紹介するので来ませんか？と行ってくださったんです。それで、2021年の10月に、初めて夫婦で南三陸に訪れました。

阿部：あの時のことはよく覚えてるよ。ちょうどタイミングよく、YES工房がウッドプランクという、木の板の上で食材を焼く料理のワークショップをしていて、移住者や地元の人を集

まってる盛りがあってたんだよな。来た瞬間そんな現場で、「はよー仲間さ入れー移住？来たらしいっちゃー」みたいな雰囲気（笑）

太田：衝撃でした（笑）。年配の人から若い人までごちゃ混ぜで、そういう地域ってこれまで見たことなかったの、なんだここは!?って感じでした。

阿部：その後、農業委員として、地域内をぐるっと案内して、空いている農地なんかを見せてやっただよな。

太田：第一印象は「きれいだな」って思いましたね。まさに原風景というような里山が広がっていて、海も近いし、住んだら楽しいんだろうなって思ったのを覚えています。妻も、「いいところだね」って言っていたのと、博之さんと会って、「ああいう師匠がいるところがいいよね」って言っていましたね。

移住前に来てみてよかった 南三陸に会いさますストーリー



「自分が思い描いていた農業ができそうな感触もあったんですか？」

太田：実は、当時は今やっている農業よりも大規模なものをイメージしていたんです。自分が農業研修に行っていた農家がそういう感じだったので、それしか発想がなかったんですね。

阿部：そこは否定するわけではないけども「大変だぞ」とは言ったね。やっぱり初めて農業やる人が、専業で、いきなり広い農地でやっているのは大変なのさ。軌道に乗るまでは、二足のわらじでも三足のわらじでも履いたほうがいい。「百姓」っていうのはまさに百の仕事を持つって意味なんだから。そして、それができるのがこの南三陸という町だと思っただよな。

太田：博之さんと出会ってやりたい農業は、180度変わりましたね。農業で生きていくことの本質的な意味を教えてもらったと思います。

「その後、どうやって移住を決めたんですか？」

太田：実は他の自治体も見学に行っただんですが、農地があっても条件が合わなかったり、すぐには貸してもらえなかったり、なかなか話が進展なくて。それで、やっぱり南三陸かなと思って、1月にもう一度南三陸に来たんです。その時に博之さんが、南三陸の運送会社の社長さんと引き合わせてくれたんですけど、「農業とカーボンニュートラルを合わせた事業をやりたい」と思っていたので、「うまくハマるかもしれない」と盛り上がりつつ。そこからは、本当にトントン拍子で、これは運命かなというくらい（笑）。結果的に、今その会社の「事業として農業をやっています」。

阿部：すごいスピード感だったよな。そこからうちで使ってた農地を貸すことになって、3月には果樹苗植えてたもんな。

太田 和慶さん

山形県出身。大学卒業後、長野県や岩手県で有機農業に従事した後、南三陸に移住。地域おこし協力隊として、地域農業の活性化に取り組んでいる。



▲肥料にしている牡蠣殻

阿部 博之さん

株式会社南三陸農工房代表。りんご、牛、お米などを育てる専業農家。若い世代の農業者の育成にも積極的に取り組んでいる。



▲太田さんが育てているスモモ

太田：その頃はまだ引越しもしてなかったんですが、博之さんが荒れていた農地を綺麗にして、いつ植えてもいように整えてくれていたんです。こんなことって他であり得ないですよ。

阿部：やっぱりみんなで声かけ合って、助け合って、わちゃわちゃしているのが良い町だと思っただよな。南三陸はその点いい規模感だと思うよ。

太田：本当にそうですね。今、地域のものを使った肥料作りをしているんです。漁師さんから牡蠣殻をもらったり、椎茸農家さんから菌床をもらったりしてると、話をするだけで、こういうことがやりたんです。って話をしに行くと、みんなとても協力的で。小さい町だからこそ、新しいことにもチャレンジしやすい環境だと思います。

「太田さんのイキイキした様子を見ると、やっぱりここに来る運命だったんだなって思いますね。今日はお話ありがとうございました！」

南三陸に会いさこマップ

aisako MAP

- ① Uターン
- ② Iターン
- ③ 地元住民

この人に出会ってみたい!と思ったら、移住・定住支援センターにご相談ください。南三陸の個性的な面々があなたを待っています。

風庵
そばカフェを営みながら、自給自足の暮らしを楽しんでいます
① 栗原 洋一 都



入谷八幡神社
樹齢450年を超える木々が生い茂り、まさに鎮守の森です! 本殿の前には大きなオクトパス君も!
① 榎 拳秀 ① 榎 結衣



南三陸 YES 工房
廃校をリノベーションした工房で、南三陸産を活用した木製品を作っています!
① 大森 文広



さんさん商店街事務局
野球観戦と美味しいものが大好きです!
① 佐藤 潤也



上山八幡宮
自然と共存してきたまち南三陸。「いのちめぐる」を感じにいらしてください
① 工藤 庄悦 真弓



株式会社佐久
海と森の国際認証をどっちも取得しているって自慢だよな!
① 佐藤 太一



一度来ればあなたも「ふるさと」を感じるはず!
① 太田 和慶 ② 阿部 勝着 ③ 大沼 ほか ④ 阿部 博之



南三陸 まなびの里いりやど
森、海、里、ひと、伝統、文化... 南三陸には学びの場がたくさん!
① 佐藤 慶治 ② 阿部 忠義 ③ 丹菊 龍也



北の恋人岬
今のまち・昔のまち、私がお話します♪
① 佐藤 良夫



南三陸 311 メモリアル
震災を伝え続けることで、防災につながると信じています
① 大石 義貴



さんさん市場
南三陸の新鮮・旬な美味しいものがたくさん!
① 太田 裕



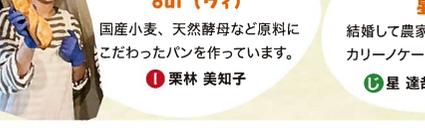
上山八幡宮
自然と共存してきたまち南三陸。「いのちめぐる」を感じにいらしてください
① 工藤 庄悦 真弓



パン・菓子工房 oui (ウイ)
国産小麦、天然酵母など原料にこだわったパンを作っています。
① 栗林 美知子



星農場
結婚して農家になり、今はカリナーゲルを育てています!
① 星 達哉 ② 星 綾子



「変態だね」は褒め言葉。個性豊かなこの町で、あなたの変態、極めてみませんか?
① 鈴木 麻友



ぐんでんむしカンパニー
古民家を改修して宿をやっています!
① 中村 未来



金比羅丸
本職は漁師ですが、化石に昆虫。好きなもので南三陸をPRしています!
① 高橋 直哉



おきなくらEELS
「あそびをまなびに」三陸復興国立公園の大自然を感じに来てください!
① 藤田 岳 ② 佐藤 快成



神割崎キャンプ場
キャンプ場での楽しみ方をご案内します!
① 及川 渉



カフェ ちょこっと
移住者も地元の人、みんなが集まるカフェ。楽しいお話が止まりません!
① 渡辺 公子 ② 成澤 英子



戸倉 Sea Boys
美味しいものをみんなに食べてもらるのが一番の幸せなんだよね
① 伸弥 ② 将人 ③ 将平 ④ 新太郎



和 sian-cafe aimaki
タイで修業し、ふるさとでタイ料理レストランを営みます!
① 高橋 大吾



猫の巣窟
ねこカフェをオープンします! ねこ好きの方、友達になりましょう!
① 山内 優規



さとうみファーム
地元のわかめを餌にした「南三陸わかめ羊」を育てています!
① 金藤 克也



南三陸ワイナリー
ワイン好き移住者コンビが、海の見えるワイナリーでお待ちしております!
① 佐々木 道彦 ② 吉島 有紀



神割崎キャンプ場
キャンプ場での楽しみ方をご案内します!
① 及川 渉



カフェ ちょこっと
移住者も地元の人、みんなが集まるカフェ。楽しいお話が止まりません!
① 渡辺 公子 ② 成澤 英子



戸倉 Sea Boys
美味しいものをみんなに食べてもらるのが一番の幸せなんだよね
① 伸弥 ② 将人 ③ 将平 ④ 新太郎



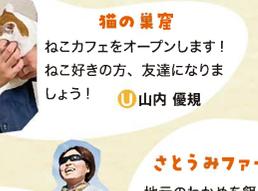
SEASON
新しい海藻食をみなさまの食卓へ届けます
① 山口 清緒 ② 阿部 将己



和 sian-cafe aimaki
タイで修業し、ふるさとでタイ料理レストランを営みます!
① 高橋 大吾



猫の巣窟
ねこカフェをオープンします! ねこ好きの方、友達になりましょう!
① 山内 優規



さとうみファーム
地元のわかめを餌にした「南三陸わかめ羊」を育てています!
① 金藤 克也



南三陸ワイナリー
ワイン好き移住者コンビが、海の見えるワイナリーでお待ちしております!
① 佐々木 道彦 ② 吉島 有紀



神割崎キャンプ場
キャンプ場での楽しみ方をご案内します!
① 及川 渉



カフェ ちょこっと
移住者も地元の人、みんなが集まるカフェ。楽しいお話が止まりません!
① 渡辺 公子 ② 成澤 英子



戸倉 Sea Boys
美味しいものをみんなに食べてもらるのが一番の幸せなんだよね
① 伸弥 ② 将人 ③ 将平 ④ 新太郎



SEASON
新しい海藻食をみなさまの食卓へ届けます
① 山口 清緒 ② 阿部 将己



和 sian-cafe aimaki
タイで修業し、ふるさとでタイ料理レストランを営みます!
① 高橋 大吾



猫の巣窟
ねこカフェをオープンします! ねこ好きの方、友達になりましょう!
① 山内 優規



さとうみファーム
地元のわかめを餌にした「南三陸わかめ羊」を育てています!
① 金藤 克也



南三陸ワイナリー
ワイン好き移住者コンビが、海の見えるワイナリーでお待ちしております!
① 佐々木 道彦 ② 吉島 有紀



神割崎キャンプ場
キャンプ場での楽しみ方をご案内します!
① 及川 渉



カフェ ちょこっと
移住者も地元の人、みんなが集まるカフェ。楽しいお話が止まりません!
① 渡辺 公子 ② 成澤 英子



戸倉 Sea Boys
美味しいものをみんなに食べてもらるのが一番の幸せなんだよね
① 伸弥 ② 将人 ③ 将平 ④ 新太郎



SEASON
新しい海藻食をみなさまの食卓へ届けます
① 山口 清緒 ② 阿部 将己




一般社団法人 宮城県農業会議 TEL: 022-275-9164

→ ホーム

→ (一社)宮城県農業会議について

→ 農業委員会活動の推進

→ 農地等の転用関係

→ 農政時評

→ 意見・提案

→ 農業委員会への女性委員の登用促進

→ 全国農業新聞・全国農業図書

→ 各地の話題

→ 県内農業委員会の活動状況

→ 農業担い手 Information

→ 認定農業者制度

→ 農業法人設立支援

→ **新規参入・新規就農**

→ 雇用就農資金

→ 農業者任命

宮城県農業委員会ネットワーク機構 一般社団法人宮城県農業会議

宮城県農業会議は、「農業委員会等に関する法律（昭和26年制定、平成27年改正）」に基づき、平成28年3月1日に農業委員会ネットワーク機構として宮城県知事より指定された組織です。

農業委員会組織は、農地利用の最適化推進をねらいに市町村農業委員会、郡道南農農業会議、全国農業会議所から成り立っておりますが、その組織の組織として平成28年4月1日に一般社団法人として新しくスタートしました。

農業委員会ネットワーク
農業委員会活動の推進
農地関係
担い手関係
農業者任命
情報提供
各種協議会
各種リンク

→ ホーム

→ (一社)宮城県農業会議について

→ 農業委員会活動の推進

→ 農地等の転用関係

→ 農政時評

→ 意見・提案

→ 農業委員会への女性委員の登用促進

→ 全国農業新聞・全国農業図書

→ 各地の話題

→ 県内農業委員会の活動状況

→ 農業担い手 Information

→ 認定農業者制度

→ 農業法人設立支援

→ **新規参入・新規就農**

→ 表彰関係

→ WEBリンク集 (外部リンク)

→ アクセス

→ お知らせ

→ 県内農業委員会専用ページ

→ 農地法関連Q&A (県内農業専用)

→ 更新履歴

農業法人設立支援

全国農業新聞

新規参入・新規就農

新規参入1 新規参入2 新規就農1 新規就農2 **新規就農3**

1. 新規就農者の推移

出所：宮城県農政課農業振興課「令和4年度新規就農者の動向について」より

就農形態区分/年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
新規就農者数	172	179	170	173	183	166	147	156	171	108	190
うち自営就農	-	49	42	35	40	32	44	47	59	47	64
うち雇用就農	-	130	102	115	114	94	82	94	94	42	93
うち新規参入	-	-	26	23	29	40	21	15	18	19	33

※自営就農者：農家出身者で、自家農産（一戸一法人も含む）に就業した者。
雇用就農者：農業法人等で雇用されて就業した者（パート、アルバイト等の非正規雇用は除く、農家出身、非農家出身を問わず）。
新規参入者：非農家出身で農地の取得等により新たに農業経営を開始した者や、農家出身者であっても、親等の経営基盤によらず、自ら農地や施設の取得等を行い新たな農業経営を開始した者。

営農部門/就農形態区分	自営就農	雇用就農	新規参入	合計
水 稲	19	28	1	48
野 菜	27	34	24	85
果 樹	3	5	1	9

2. 市町村農業委員会PR資料

県内市町村農業委員会のご協力により、新規就農者向けのPR資料を提供いただきました。各市町村の特徴や就業支援、先輩就農者の例など地域に合った情報をチェックすることができます。農業に興味のある方は、是非、就農希望地やお住まいの市町村をご覧ください。

角田市農業委員会
蔵王町農業委員会
村田町農業委員会
柴田町農業委員会
川崎町農業委員会
仙台市農業委員会
名取市農業委員会
亘理町農業委員会
山元町農業委員会
七ヶ浜町農業委員会

利府町農業委員会
大崎市農業委員会
色麻町農業委員会 New!!
加美町農業委員会
涌谷町農業委員会
美里町農業委員会 New!!
石巻市農業委員会
気仙沼市農業委員会 New!!
南三陸町農業委員会 New!!
※クリックするとリーフレットが開きます。

こちらからもご覧いただけます

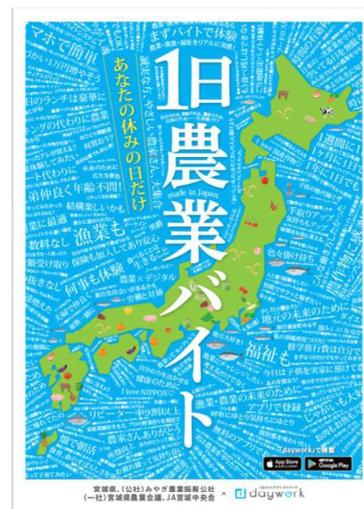


3. 新規就農PR動画

宮城県農政課農業振興課と新規就農相談センター（公益社団法人みやぎ農業振興公社・一般社団法人宮城県農業会議）で新規就農PR動画を共同製作いたしました。

- 宮城県農政課農業振興課 ☎ 022-211-2836
- 宮城県新規就農相談センター
 - ・公益社団法人みやぎ農業振興公社 ☎ 022-275-9192
 - ・一般社団法人宮城県農業会議 ☎ 022-275-9164

1日農業バイトアプリ daywork について



1日農業バイトアプリ daywork について

dayworkについて

- ▶ 鎌倉インダストリーズ株式会社が提供するスマートフォンのアプリ。アプリを介して、生産者・求職者を簡便かつ格安にマッチングする。

生産者	アプリ上で仕事を登録することで、1日単位で労働力を募集可能。	現在は無料で利用可能。
求職者	アプリ上で仕事に応募することで、1日単位で働くことができる。	現在は無料で利用可能。

- ▶ 本県では、各JAおよび県域団体（県・公社・農業会議・本会）で活用を促進。

JAにとってのdaywork

- ▶ 労働力確保に悩む生産者への紹介により、課題を解決し、労働集約型の園芸振興等に取り組んでもらうことが期待できる。
- ▶ 雇用経験のない生産者に対しては、**労働基準法の遵守**や**労災保険への加入促進**等、雇用労務に関する一定のアドバイスが必要。

I日農業バイトアプリ daywork について

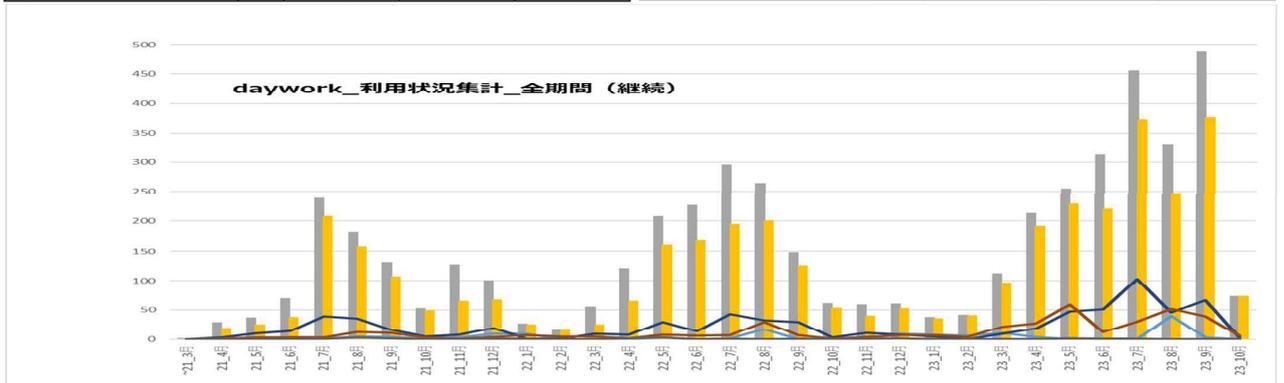
通算実績

- ▶ 果樹県ほどの爆発的な伸長はないにせよ、一定の実績が積みあがっている。特に、施設園芸の法人等を中心に、繁忙期の労働力の調整弁として機能しているものと推測される。
- ▶ 一方、求職者の需要に対して**農業者側での登録が不足**しており、本会としては、第1回研究会で課題提起のあった**現場職員向けの浸透**を図り、農業者への周知に取組む。

【daywork実績_※R5.10.4現在】

	前月	当月	増減
登録生産者数	54	55 ↑	1
応募実績のある求職者数	563	608 ↑	45
マッチング率=成立/募集	75.9%	77.6% ↑	1.7%

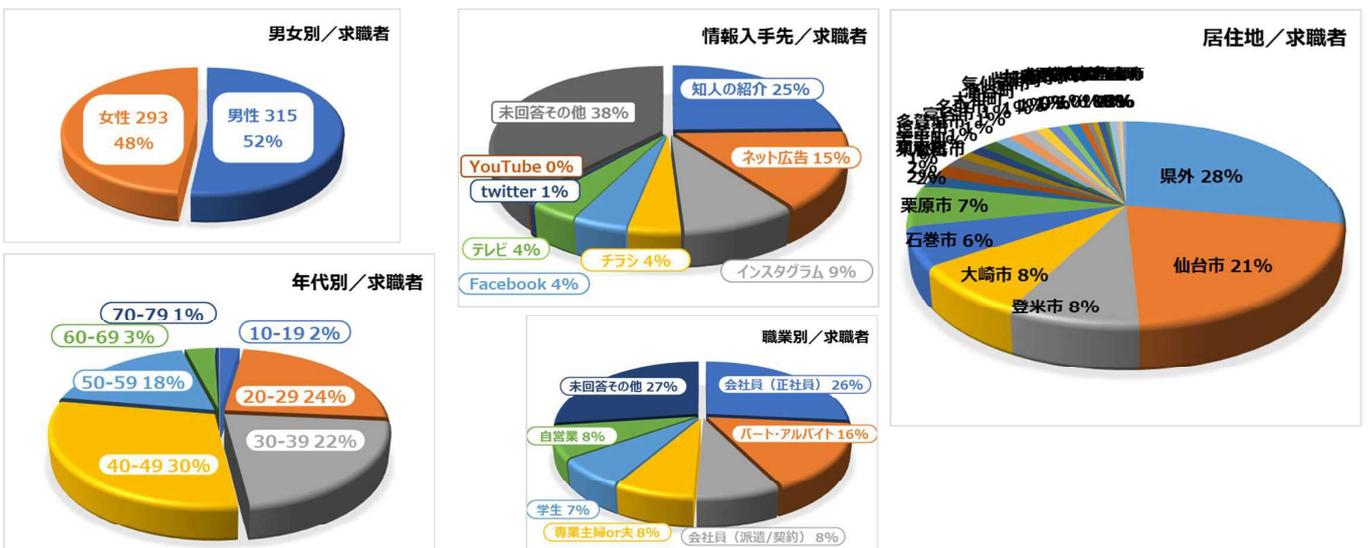
区分	募集(人)	成立(人)	マッチング率
全期間	4,846	3,761	77.6%
令和5年度_当月(未確定)	74	74	100.0%
令和5年度_当月(未確定)以外	2,060	1,643	79.8%
令和4年度	1,641	1,238	75.4%
令和3年度	1,071	806	75.3%



I日農業バイトアプリ daywork について

求職者の傾向

- ▶ 求職者の属性としては、男女比は同程度であるが、**30代までの割合が約50%**、40代までとなると実に8割に迫る比率となっている。
- ▶ 求職者のバックボーンは様々であるが、会社員が最も多く、本アプリによって、**これまで農業と関わりを持たなかった層が農業に関与する機会**が創出されているものと推測される。



令和6年度研修者募集

いちご作りを

始めませんか？

募集
期間

令和5年4月から随時募集中！

応募先

JA全農みやぎ

全農宮城県本部

園芸・生産振興部 生産振興課「いちごトレーニングセンター」

仙台市若林区卸町5丁目1番8号

☎ 022-352-3161



旬太

新たに「いちご」の生産に取り組み、新規就農を希望される方、及び「いちご」の生産をしている親元で後継者として就農を希望する方を対象に、「いちご」の生産技術・経営管理に関する研修を行います。また修了後は関係機関と連携し就農を支援します。

いちご新規就農者研修事業

令和6年度 研修者募集要項

募集定員	3名（新規就農者2名、親元就農者1名）
募集期間	令和5年4月から随時受付いたします。
応募方法	以下⑦・⑧に必要事項を記入し、下記「応募先」へ郵送または直接持参してください。 ⑦令和6年度研修受講申込書 ⑧履歴書（市販のJIS規格のもの。写真貼付け） ※⑦につきましては、全農みやぎホームページにある申込み様式をご使用ください。
応募先 お問合せ先	全農宮城県本部 園芸・生産振興部 生産振興課 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町5丁目1番8号 TEL：022-352-3161 e-mail：zz_mg_seisanshinkou@zennoh.or.jp
研修内容	いちごの生産・経営に係る基礎知識の習得、および栽培技術の習得
研修期間	令和6年4月から令和7年5月までの14ヵ月間
研修場所	宮城県亘理郡山元町高瀬字北中須賀3番地 ㈱やまもとファームみらい野ほか
説明会	年数回開催予定（全農みやぎホームページをご確認ください）。 また、ご連絡いただいた際に個別での開催も可能です！

詳しい研修の内容は、
JA全農みやぎのホームページで
確認してね!!

<https://www.zennoh.or.jp/mg/grow/ichigo.html>

QRコードからも
ホームページに！



全農みやぎ【公式】
旬太のつぶやき



@zennohmiyagi



旬太

留意事項

- ・「いちご」生産者として営農を継続するためには、本人の努力・熱意・体力とともに知己と協調する姿勢が求められます。
- ・特に新規就農するためには、ある程度の自己資金が必要になります。
- ・研修終了後も本会、関係機関により必要に応じた支援体制を構築し支援していきます。